

平成30年

第18回福岡県教育委員会会議（定例会）会議録

日 時 平成30年10月11日（木）
開会14時00分 閉会14時49分

場 所 福岡県庁4階 教育委員会会議室

【議事等】

1 その他

(1) 9月定例県議会について

【内 容】

1 出席者

教育長：城戸秀明

委 員：久保田誠二、宮本美代子、前田恵理、木下比奈子

2 欠席者

清家 渉

3 出席職員

副教育長 吉田法稔、教育総務部長 辰田一郎、教育振興部長 木原茂、
総務企画課長 日高公德、施設課長 池松峰男、高校教育課長 田中直喜、
社会教育課長 谷本理佐 外

4 傍聴者等数

1名

5 議事録

【城戸教育長】

ただいまから第18回の教育委員会会議定例会を開催いたします。

傍聴の方に申し上げます。受付で配付されました「傍聴人の留意事項」を遵守し、会議進行の妨げにならないよう御協力をお願いします。

本日の案件につきましてはお手許に配付している資料のとおりでございます。

審議に入ります前に、非公開発議の有無を確認いたします。非公開で審議することが適当なものはありませんでしょうか。

< な し >

【城戸教育長】

ないようですので、本日の会議は、公開にて審議いたします。

それでは、審議に移ります。その他(1)「9月定例県議会について」を吉田副教育長お願いします。

○その他（１） ９月定例県議会について

【吉田副教育長】

去る９月７日開会の平成３０年９月定例県議会における県教育委員会関係分の答弁の概要につきまして御説明申し上げます。

＜吉田副教育長が資料に沿って説明＞

【吉田副教育長】

概要の説明は以上でございます。

【城戸教育長】

説明は終わりました。御質問や御意見をお願いします。

【宮本委員】

２ページ「④県内子ども図書館の現状と子ども読書推進のための連携について」に対する答弁で、子供用の読書コーナーを設置している図書館が５８館とありますが、県内に公立の図書館数はいくつあり、また子供用の読書コーナーの設置率はどれくらいなのでしょうか。

【谷本社会教育課長】

「福岡県公共図書館等概況」によると、県内には公立の図書館が１１４館あり、そのうちの５８館に「児童室」というかたちでコーナーが設けられています。

【宮本委員】

将来、図書館を改築するという計画はないのですか。

【谷本社会教育課長】

社会教育施設が全般的に老朽化しております。改築の順番にもよりますが、現在、公共施設長寿命化の個別施設計画の策定を行っておりますので、それを踏まえて計画していく話になるかと思います。

【宮本委員】

全国にはユニークな図書館が増えておりますので、参考にされたらおもしろいかと思います。

もう一つ質問です。

3 ページにある道徳の教科化についてですが、小学校は担任の先生が教えられると思いますが、中学校はどういった教科の先生が教えるのでしょうか。また、道徳に係る時間はどのようにして捻出するのでしょうか。

【豊村義務教育課課長補佐】

中学校におきましては、ホームルーム担任や副担任が授業を行っております。また、今でも道徳の時間はございますので、そのまま行っていく予定です。

【木下委員】

2 ページ「③子供が読書好きになるための図書館における工夫について」に対する答弁の中で、「…親子で本を読むためのスペースや子供が落ち着いて読書や調べ学習を行うことのできるスペースを設けています。」とあります。

時々図書館に行ったりしますと、親子が靴を脱いで上がるような幼児向けの親子読書スペースがあるのですが、それ以外のところは、毎日図書館に通い詰めている方が定位置を占領しているところがあり、少し入りにくい雰囲気があります。

家では勉強できる環境にない10代の中高生がたくさんいると思います。せめて土曜日・日曜日だけでも学生専用ゾーンを設けるなどして、そういった生徒たちが勉強できる環境ができればいいなと思いますので是非検討していただければと思います。意見でした。

【谷本社会教育課長】

今回の質問の中でも、図書館を特定の方が占領してしまって、子供たちが本を読めないのではないかとといった御意見もありました。

県立図書館は、子ども図書館というかたちで別館にありますので、子供たちのスペースは確保されていますが、なかなか市町村の図書館ではそういったスペースを確保するというのは難しいのが現状ではあります。しかしながら、ちょっとしたコーナーでも設けていただくよう、公共図書館協議会等を通じて好事例の紹介をしていきたいと思っております。

【前田委員】

3 ページ「⑧道徳科の評価について」に対する答弁で、「…指導資料を作成・配付するなどの支援を行っており、…」とありますが、これはどういった資料なのでしょうか。

【豊村義務教育課課長補佐】

「道徳教育実践ハンドブック」というものを作成しております、これまでに何度か改訂しております。教科化に向けまして、今回、更に改訂を行っており、県内の全小中

学校に昨年度末頃に配布いたしました。各学校ではこの内容に基づき、授業や評価をしていただいております。

内容については、なぜ道徳が教科化されたのかといったところからポイントをまとめまして、最終的な評価の仕方までを図を入れて分かりやすく説明しており、「読みやすい」、「使いやすい」といった御意見をいただいております。

【宮本委員】

3 ページ「⑥学校給食への県産農林水産物の利用拡大について」に対する答弁で、給食に県産食材を活用しているとのことですが、具体的にはどのような食材が使われているのか教えてください。

【小西体育スポーツ健康課課長補佐】

県産食材としては苺の「あまおう」や「糸島ねぎ」、その他にもお米、ブロッコリー、玉ねぎ、しめじ、豚肉、といったものが使われています。

【久保田委員】

話は変わりますが、ドローンを活用した農薬散布の取組みを進めている嘉穂総合高校について、その後の進捗状況はいかがでしょうか。

【田中高校教育課長】

生徒がドローンを使用して農薬を散布できる資格を取得しましたので、その資格授与式を今年7月に行い、その後、今ある学科・コースでドローンがどのような使い方ができるかということの研究している段階です。実際にドローンを使って農薬散布を行ったということはまだございません。

【城戸教育長】

これにより、受験者の増加といった効果があったという意見もあります。

【宮本委員】

5 ページ「③知的障がい者、肢体不自由者、病弱者に対する県立特別支援学校の幼稚部の設置について」に関して、県立特別支援学校で幼稚部が設置されている学校はいくつありますか。

【明永特別支援教育課課長補佐】

幼稚部は聴覚障がい、視覚障がいの学校に設置されており、全部で20校ある県立特別支援学校のうち7校にあります。

【城戸教育長】

視覚特別支援学校や聴覚特別支援学校には昔から幼稚部が設置されておりまして、今回の質問ではそれ以外の特別支援学校にも設置する必要があるのではないかというものです。

【宮本委員】

8 ページで「⑤【参考】高等学校中退者の実態把握と課題への対応について（知事答弁）」に対する答弁では県立と私立を合計されていますが、県立のみの割合や人数はどのようになっていますか。

【田中高校教育課長】

県立学校における割合として、連絡のつかない者は2～3%であり、ほとんど連絡がついています。約7割が就職・進学が決まっております、残りの3割が、就職・進学を目指している者もしくは何もしていない者となっています。

人数としましては1,665名のうち687名が県立の一年間の中退者でございます。また、就職しているのが390名、進学が61名、どちらもしていないのが214名、不明が22名です。

【宮本委員】

9 ページ「④部活動等における熱中症対策について」に関して、猛暑の時などはいろいろな競技大会の開会式等は中止してほしいのですが、今年度の実施状況はいかがでしたでしょうか。

【山本体育スポーツ健康課課長補佐】

今年度の実施につきましては、大会を主催する各団体等が途中で休憩を入れるなど、こまめな対応を行いまして、最終的には全て予定どおり実施しております。

【前田委員】

7 ページ「①通学路の安全確保について（知事答弁）」に対する答弁で、撤去費の助成制度の創設を今年度の補正予算でお願いしているとのことですが、これは純粹に撤去だけなのでしょうか。また、窓口は教育庁なのでしょうか。

【豊村義務教育課課長補佐】

この制度は、建築都市部が補助金制度の予算を要求しております。内容につきましては、ブロック塀の撤去のみに掛かる費用の2分の1を公費で補助しようというもので

す。新たな工作物を設置する費用に関しては対象外でございます。

【城戸教育長】

他にはございませんでしょうか。

< な し >

【城戸教育長】

特にないようでございます。

以上で本日の会議を終了します。

(1 4 : 4 9)